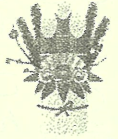


料金後納
郵便

ゆうメール

やまもり通信



NO. 253 2025.1

NPO法人恵那山みどりの会



10/27 間伐体験会を開催しました。(於)福岡ヒノキ林

恒例のどんどを開催します！
みんな来てね！！

1/11(土) 本町公園横中津川河川敷 9:30～

リニューアルホームページ

恵那山みどりの会

検索



新年を迎えて

理事長 河内龍二

新年おめでとうございます。
会員の皆様には良いお正月をお
迎えになったこととお喜び申し上
げます。

昨年日本のみならず、世界各
地で地球温暖化によると思われる
異常気象による災害が起こってい
ます。周りを見ても、農作物、魚、
海藻など地域の産物の産地が変化
しています。

世界の政情も相変わらず続く口
シアのウクライナ侵略、パレスチ
ナ紛争の拡大、シリア政府の崩壊、
ルーマニアなど東欧職の政情不安、
ヨーロッパ諸国の右傾化、とどめ
はアメリカの第2次トランプ政権
など、地球環境は環境問題だけ
はなく、嘘も真実も混然とし、世相
は民主主義が危険水域に立ってい
ます。こんな中、ノーベル平和賞に
日本被団協が受賞したことは世界
にとって希望の光を灯しました。

人間自身が絶滅危惧種にならな
いよう我々は冷静な判断力と知性
を持たなければなりません。

昨年、当会が高齢化による会員
の減少にもめげず、地道ですがい
ろいろな活動を進めてきました。
雑木林窯に拠点を集約・整備し、神
坂作業所を閉鎖しました。改めて
この作業で神坂での先輩諸氏の活
躍を思い起こす作業でもありまし
た。神坂地区の皆さんにも大変お
世話になりました。

活動では坂下高校へ竹林整備の
出前講座を実施し、若い世代へ竹
林問題を伝えることができました。
また、福岡のヒノキ林で「木の伐採
体験会フローアップ講座」や「間伐
体験」を実施、少しずつ活動も活気
を取り戻しています。

なすの森の活用方法も検討が進
められています。来年度には具体
的な活動が進められると期待して
います。

我々の活動が広く一般の皆さん
にも伝えられるようホームページ

をリニューアルし、生き生きとし
た情報が伝わることを期待されま
す。

昨年のNHKで再放送された司
馬遼太郎の「坂の上の雲」の冒頭に
『まことに小さな国が開花期をむ
かえようとしている。伊予松山に
三人の男（秋山真之・秋山好古・正
岡子規）がいた。（・・・中略・・・）
彼らは明治という時代人の体質で
前のみを見つめながらあるく。上
っている坂の上の青い天に、もし
一朵（いちだ）の白い雲が輝いてい
るとすれば、そのみを見つめて
坂をのぼっていくだろう。』という
有名なナレーションがあります。

混沌とした、これからどんな世
界になるか不安な世界に一朵の夢
と希望の塊を見つけ、それに向か
ってひたすら歩み続けるそんな年
になるよう、健康に留意し、前を見
て歩みましょう。

会員の皆さんのご健勝を祈念し
て新年のご挨拶とさせていただきます。

森づくりだより

早川宏之

もりづくり・間伐体験会

十月二十七日（日）

参加者 四名 スタッフ 四名

「ふれあいの森事業」として湯船沢国
有林で開催してきた間伐体験ツアーも、
平成二十九（二〇一七）年をもって終了、
その後、コロナ禍もあり実施できてい
なかった。

今回、福岡松植林地で「もりづくり・
間伐体験会」を企画し参加者を募集し
たところ、四名の応募を受け実施した。
初めに植林地内を歩き、最近間伐を
実施した個所と出来ていない箇所との
違いを感じてもらい、実施した個所
は空間が広がり地上に光が入って、実
生で生えた松の稚樹、幼樹等の新たな
植生を見ることが出来、間伐の必要性
を実感して貰えたと思う。

チェンソーの取扱方法を簡単に説明
後、各自でエンジン始動、丸太切りを体
験してもらった。

その後、森林内に入り一五cm前後の

ヒノキを一本ずつ間伐した。

昼食後、参加者の要望に応じチェン
ソーの手入れ方法、ソーチェンの目立
ての仕方等簡単な説明会を行い、今回
の体験会を無事終了した。

阿木 広葉樹の高切り及び伐倒作業

十一月十三日（水）～二十五日（月）

延べ十五名

以前、広葉樹林を切り開き畑地にす
るため、伐採依頼を受けた方からの依
頼作業である。

今回の依頼は、三十～四十cmに育つ
た桜三本と栗の木の一～四mほどの
高切りと、その他広葉樹の根切伐倒集
積の依頼である。

一日目は、住宅の屋根に接近してい
る桜の枝降ろし、高切りの準備と若干
の伐倒作業を行い終了。

二日目、昨日の続きの桜の枝落とし
と伐倒作業を行う。

ナラ等の伐倒作業は順調に進んだが、
桜の枝落としが樹上での移動に手間取
りはかからない。午後二時過ぎに何と

か枝落としが終わり、二股に分かれた
位置で幹の高切りを行い終了とした。

三日目、二本目の桜の枝落としと、広
葉樹の伐倒作業。伐倒はいつも通りチ
ルホールによる牽引で、敷地内へ伐倒
枝払い玉切り集積を行う。予定外へ倒
れ込んだ樹もあったが、支障とならな
いよう枝払い集積を行った。

二本目の桜はほぼ真っ直ぐに伸びて
おり、樹上での移動も少なく順調に枝
落とし作業は終了、幹の高切りも含め
一日で終了した。

四日目、三本目の桜の高切りと、地際
で三本に株別れしているナラの伐倒作
業。株別れしている二本は敷地内へ傾
斜しているので、難なく伐倒枝払い玉
切りを行った。反対方向へ傾斜してい
る一本を残し、桜の枝落とし高切りに
移った。この日の桜は一mほどで二本
に株別れし、ほぼ真っ直ぐに伸びて下
枝までが高い。枝落としはそれなりに
順調に進んだが、高切りする個所の足
場がなく、梯子、ステップを取付け足場
とし、一本の高切りで終了とした。



五日目、前回の残りの伐倒並びに高切りの作業。残っている一本の伐倒作業から始めた。伐倒後の枝払い玉切りがしやすい位置を考えて慎重に受口を入れ、伐倒したが、ツルの残し方が悪く想定外の位置でかかり木となった。

続いて、入り口付近の栗の伐倒に移り、こちらはほぼ想定通りの位置へ寝かし、枝払い玉切りを行った。

最後に残っている一本の桜の高切りを終了させ、最初にかかり木としたナラの枝払い玉切り集積を行い、今回の作業を終了した。

使ってみませんか？

阿木伐倒作業を依頼された方から、窯に陶器を入れる際に使った耐火性陶器の器を譲っていただきました。



写真のように植木鉢や法面の土留め用などいろんな用途があります。

サイズは縦・横・高さ30cm*30cm*20cmです。ご希望の方は左記へお問い合わせください。無料です。

《お問合せ》

河内

携帯：080-7033-8440

ホームページをリニューアルしました！

遅くなりましたが当会のホームページをリニューアルしました。

今回の目的は活動の状況を写真を使いやすい紙面にし、見やすくわかりやすい内容にすることです。更に、情報の入力方法を簡単にし、タイムリーな情報を発信することです。また、検索を多くしてもらえよう情報のデジタル化を進めることです。

まだ不完全なところもあると思いますが、徐々に充実させたいと思っています。

ホームページを見るにはインターネットで「恵那山みどりの会」と検索すると旧のホームページが表示されますが「はじめに」の中の「次のホームページをご覧ください」の下に新しいホームページのアドレス(URL)が表示され、それをクリックしてご覧ください。

是非ご覧の上、ご意見、ご感想をお聞かせください。

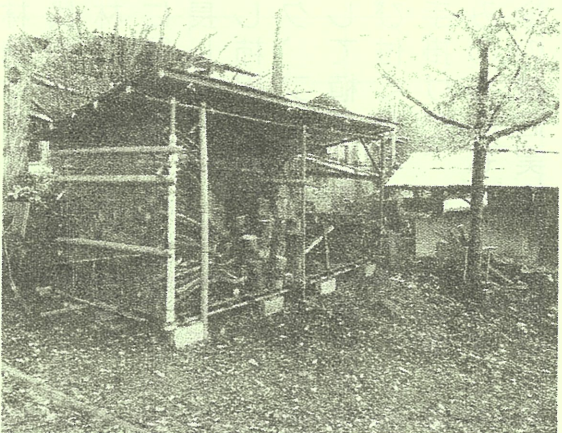
【定例作業日誌】

森林資源活用部 伊藤 守

- 十月二十二日(火) 晴れ 四人 炭材作り
- 十一月十二日(火) 晴れ 四人 集積小屋屋根葺き・薪配達
- 十一月二十六日(火) 曇り 五人 雑木林窯広場の整理
- 十二月八日(日) 曇り 八人 炭焼き準備
- 十二月十日(火) 晴れ 四人 薪作り

集積小屋完成・薪配達始まる

夏から作り始めた炭作りに必要な炭材・上木・燃料を雨露から守るための集積小屋が完成した。屋根はトタン葺き、三方の壁面はメッシュ作りで風通しの良い建物。古い小屋と合わせ二棟の小屋となり、多くの炭材の保管・貯蔵が出来るようになった。十一月に入り薪の注文が順調に入ってきた。久しぶりの方、新規のお客さんと。毎年配達依頼のあった方か



炭焼き窯の隣に出来た集積小屋

ら連絡の無いのはちょっと淋しいものです。十二月初めの時点で軽トラ十五台分の注文があり出荷しました。薪の残りは十分では無いですが、今までのお客さんには要望に添えていきたいです。

神坂の大櫓

名古屋へ行った時は何時も駅前の書店に寄る。九月にはバーゲン用の書棚が目についた。なかなか売れない豪華な美術書や写真集に混じって

高田宏の「山川草木紀行」が有った。二十年前の発行だが七割引きで購入。内容は、水・木・自然・旅行のエッセイです。

木と森を訪ねる『巨樹発見』の稿で神坂の大櫓発見の経緯が書かれていた。著者が巨樹の発見者、付知の方の案内で現地訪問と発見の経緯が書かれていた。巨樹の発見は、一九九七年晩秋、ほんの二十七年前のこと。林道に近いのに発見が遅れたのは、独特な樹幹部に有るようだ。針葉樹は円錐形の樹幹部を形成するが、この巨樹は、先端部の梢が平らな風変わりな形をしていた。

「一〇〇〇年をはるかに超える樹齢だろうが、若々しい。落雷の傷もなく、腐食の洞もない。巨大ヒノキは幸運だったのだ。何かこの木には神性といった物を感じさせ、屋久島のあの者巨杉に通じる物だ。この木に名を付けるとしたら『神坂大櫓』としたらどうか。」と著者は述べています。

偶然手にした本に身近な所の自然が記されていた事に驚いた。

投稿

「環境活動に携わって30年」果たした役割への自問自答

柴田弘明

30年前の現役時に東海地方の一部にしか見られないという、貴重な植物の「シデ」「フシ」の自生地が市内にあり、開発や環境の変化によって衰退の心配があるという話を職場内講習会で聞き、保全する会が結成されたという。入会案内もあり、数名が入会することになった。市内の自生地が数ヶ所確認されていることや、愛知県の三河地方や三重県の一部でも発見されていることも聞き、「恵那山みどりの会で理事をされていた故松川喜三さん等による長期間の調査によって確認された」ことに共鳴したものである。

その後、職場を退職すると間もなく、有志数名による環境団体のNPO法人結成の呼びかけ人に加

わり、以来今日まで関わることになった。活動の内容は年ごとに大きく変化し、様々な分野に手を伸ばすようになりましたがいずれも地域の生活環境に少なからず役立ってきたと考えています。実際はどうなのだろうかと自問することもある。

更に、これら組織活動とは別に、個人としても様々なことを実践してきた。環境問題が社会的なテーマになり始めた頃、裁判所の公売物件の中に小面積だがヒノキの植林地(20年生)があり、自分で間伐や枝伐りを実行して利用できる林に仕立てようと購入し、小まめに間伐を試み、現在、柱材程度に成長している。他にも所有地内に干し柿用の苗や梅の木、ヒワ、イチジク、ブルーベリー等自産自消費として植えたり、温暖化対策にも結び付くからと薪ストーブの導入も手掛けた。これらの中には自分好みのものもあり、必ずしも環境保全の為に実施した事ばかりでない。

薪ストーブについては、太陽光発電の条件が悪いという理由からだが実際に取り入れる段階になると部屋の改造は勿論、薪材の確保や二、三年分の保管場所や入手材の切断や割材づくりにかんがりの労力を費やすことになり、大変な面が少なくない。導入後20年を経過し少しずつ傷み始めてきたので更新を考えざるを得ない時期になってきた。

環境破壊による地球温暖化のテンポが速まっているといわれ、それぞれが防衛費を半減してでも思い切った大胆な発想と実践に取り組まなければ手遅れになりかねないといわれている。一人一人の活動は小さくても世界が目標を一致して実践すれば間に合う時間はあるはず。まずは化石燃料や原発エネルギーのゼロ目標が必要になると思いたい。

自分なりに携わってきたほんの一部の活動に対してもこれで良かったのか否か考えることがある。

2025年 1月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
11日	土	10:00	どんど焼き	本町公園河川敷	会員・一般	雨天は12日に順延
14日	火	10:30	役員会	雑木林窯	担当・役員	
20日	月	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
26日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
28日	火	9:00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
29日	水	13:30	企画会議	事務所	担当・役員	

2月 イベントと森の学校の予告

日()	行事内容	会場	備考

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。
また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連あるご意見などをお寄せください。
関係の深い記事など通信に記載します。
イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会
理事長 河内 龍二
事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
(TEL・FAX 0573-65-1366)
13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp

2025年 2月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
2日	日	13:30	役員会	事務所	担当・役員	
9日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
11日	火	9:00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
17日	月	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
23日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
23日	日	13:30	通信編集会議	なすの森	担当・役員	
25日	水	9:00	定例作業日	雑木林	会員・一般	
26日	水	13:30	企画会議	事務所	担当・役員	
26日	水	13:30	通信発行	事務所	担当・役員	

3月 イベントと森の学校の予告

日()	行事内容	会場	備考

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連あるご意見などをお寄せください。
 関係の深い記事など通信に記載します。
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会
 理事長 河内 龍二
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
 (TEL・FAX 0573-65-1366)
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp